



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <http://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/2017(平成29)年5月31日



児童の前で挨拶する西中副支部長(荒川小)



反射材付巾着袋を贈る(横内小)

問屋町合同清掃は4月から10月までの毎月第2木曜日、全7回開催。問屋町は組合会

青森交通安全協会問屋町支部では、問屋町内交通死亡事故ゼロ7千日達成(2016年12月26日)を記念し、問屋町が学区に含まれる横内小学校、荒川小学校の新1年生に交通安全グッズを寄贈した。4月26日(水)には横内小学校、5月26日(金)には荒川小学校を訪れ、同支部の西中副支部長は挨拶の中で「交通ル

交通安全の撲滅を目指し、安全運転の励行をはじめとした交通安全啓発活動を行い、死亡事故ゼロ8千日達成を目指します。今後死亡事故はもちろん、交通安全の撲滅を目指し、安全運転の励行をはじめとした交通安全啓発活動を行い、死亡事故ゼロ8千日達成を目指します。

中副支部長が代表児童に交通安全グッズである反射材付巾着袋を手渡した。受け取った児童は「ありがとうございます」と元気に答えた。統計によると、歩行中の交通死亡事故死者は全年齢の中で7歳が突出して多い。西中副支部長は挨拶の中で「交通ル

ールをしっかり覚えて、絶対に守り、事故のない、明るく楽しく元気な小学校生活を送ってほしい」と述べ、小学校に入學し、行動範囲も広がる新1年生に注意を呼びかけた。当組合と青森交通安全協会問屋町支部が取り組む「問屋町内交通死亡事故ゼロ推進運動」が功を奏し、問屋町では1997年9月より20年にわたり交通死亡事故が発生していない。中央卸売市場が隣接し、大型車両を含め交通量の多い問屋町での死亡事故ゼロ7千日達成は、市内にある32支部の中でも2番目に長く、誇るべき記録である。

問屋町内死亡事故ゼロ8千日達成を目指して

交通安全グッズ寄贈

春を迎え、今年度の合同清掃がスタート

今年度、1回目となる問屋町合同清掃が4月20日(木)に行われた。同活動は悪天候のため1週間延期しての実施となった。当日は気温が6℃ほどと、まだ肌寒さを感じる朝であったが、組合員従業員ら235名が参加した。作業は問屋町と第二問屋町に別れて行われ、参加者は、冬期間雪の下敷きとなり雪解け後に現れた粗大ごみや空き缶、落ち葉等を丁寧に拾っていた。

今回の活動の様子は地元新聞やテレビのニュースでも取り上げられ、同清掃活動への関心の高さがうかがえる。2002年からスタートし、今年で16年目を迎える問屋町合同清掃。初年度の1回あたりの平均参加者数は47名であったのが、昨年は220名まで増加し、過去15年間で延べ1万4千人以上が参加している。参加者は年々増加するの

組合情報はフェイスブックやツイッターでも公開しています。ぜひご登録ください。

ツイッター

フェイスブック



寒さの残る中ごみ拾い

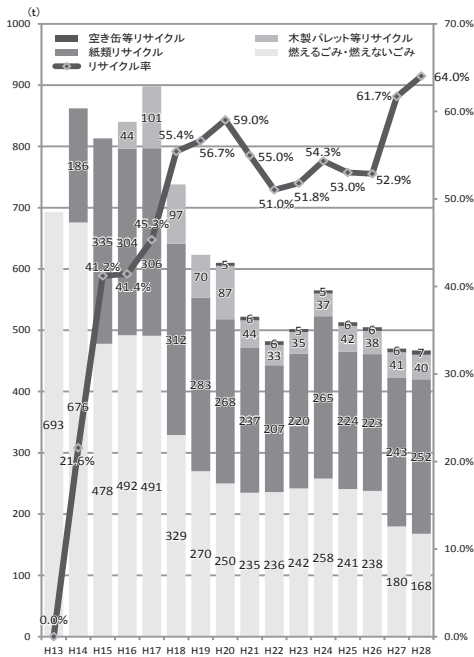
2016年度の団地内のリサイクル率(総排出量に占める各種リサイクル回収量合計の割合)が過去最高となる64.0%を記録した。

組合が取り組む資源リサイクル回収は、2002年の紙類リサイクル回収を皮切りに、木製パレット、空き缶・ペットボトル、パソコンのリサイクル回収とメニューを拡充。組合員をはじめ、ごみ収集業者やリサイクル回収業者とも連携して分別の徹底を図り、2015年度には初のリサイクル率60%台(61.7%)

団地内のリサイクル率が過去最高を更新

2016年度の団地内のリサイクル率(総排出量に占める各種リサイクル回収量合計の割合)が過去最高となる64.0%を記録した。

青森県のリサイクル率は15.0%(2015年度)で全国ワースト5位。改善傾向あり、リサイクル率の向上を図り、ごみ減量化に寄与していく。



「ちいさな会社」の営業力活用を学ぶ Y'S CLUB オープンカレッジ

問屋町ビジネススクールでは4月19日(水)に、「Y'S CLUB オープンカレッジ in AOM College」を開催し、定員を大きく上回る45名が受講した。講師は、「ちいさな会社の経営コンサルタント」で、営業や販売戦略において全国トップレベルの講師である吉見範一氏が務めた。

今回は氏の経験から、地方の企業がどうやって売上を伸ばしたのかを具体的な成功事例を中心に紹介した。

吉見氏は「ちいさな会社が安売り競争に巻き込まれると



=Y'S CLUB= オープンカレッジ

38件と全体の3分の2を占める結果となった。

また、事故発生時期については、12月から3月の4ヶ月間に全体の6割近い事故が発生。スリップが事故要因とする回答が多かった。

同支部では、今回の調査結果を問屋町内の交通事故防止に活かし、「問屋町内交通事故ゼロ」2019年9月22日(土)を目指す。

「ちいさな会社」の営業力活用を学ぶ Y'S CLUB オープンカレッジ

消耗するのみとなってしまう。まずは自社の独自資産・優位性、強み・差別化ポイントを見出し、勝てる市場を創る。営業力は「モノを売る」ことではなく、自社の熱狂的なファンを増やすために使うべきである」と話した。

第50回通常総会の提出案件など承認。第1回理事会

第50回通常総会の提出案件などを審議する2017年度第1回理事会が4月25日(火)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは昨年度の塵芥収集及び紙類リサイクル等の回収実績や交通事故実態調査結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり

案件一・事業委員会からの意見について

案件二・組合員の脱退及び新規組合員の加入について

案件三・青森問屋町配送(株)の組合加入について

案件四・組合創立50周年記念事業について

記念式典やチャリティコンサートの開催、組合功労者表彰や記念誌の作成、記念広告の実施などが承認された。

案件五・第50回通常総会の提出案件について

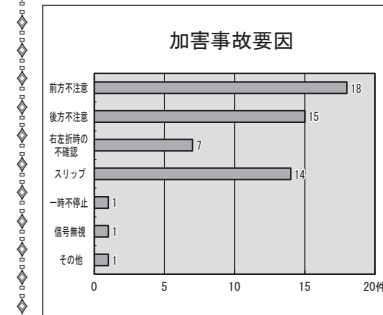
理事会終了後には、青森卸センター(株)の第1回取締役会及び青森問屋町配送(株)の第1回取締役会も開かれ、審議の結果、提出案件全てが原案どおり承認された。

2016年度の交通事故実態調査結果まとめ

青森交通安全協会問屋町支部が会員を対象に実施した2016年度の交通事故実態調査結果がまとまった。

全141社から回答を得た調査の結果、無事故(加害事故ゼロ)会員数は114社、80.6%と昨年度の78.1%を上回った。

加害事故は全57件発生しており、事故要因については、前年度同様、前方不注意が最も多の18件であった。後方不注意の15件と右左折時の不確認7件を合わせると確認不足が



昨年5月に第二問屋町北口で発生した交通事故

営業用食器・厨房設備・器具専門商社

株式会社 プリモ

青森店 青森洋食器
〒030-0113
青森市第二問屋町3丁目3番8号
Tel 017-739-9355 Fax 017-739-9359

食品・酒類卸

丸大堀内株式会社

〒030-0131 青森市問屋町2丁目15番22号
電話 017-738-4311

問屋町たんしん

①第1回集団健康診断
日時 6月13日(火)
15日(木)

受付 8時30分～11時30分
13時～14時30分
場所 問屋町会館2階ホール

②問屋町地区健康診断
日時 6月28日(水)
7月11日(火)
8月9日(水)

受付 各日8時30分～11時
場所 問屋町会館2階ホール
※問屋町地区健康診断とは、労働基準協会等が、企業や



昨年の集団健康診断の様子

市民を対象に市内各地で行う健康診断を、問屋町会館で実施するものです。
お問い合わせは、卸センター業務部(☎73814711)まで

業務報告

…主要事項…

- 4月
 - 7日▽東北卸商業団地連絡協議会幹事会
 - 8日▽大星神社敬神会
 - 11日▽あおもりコンピュータ・カレッジ入学式
 - 17日▽金融審査会
 - ▽問屋町経営同友会第1回役員会
 - 18日▽第1回三役会
 - 19日▽問屋町支店長・所長連絡会第1回幹事会
 - 20日▽第1回問屋町合同清掃▽空き缶等リサイクル回収
- 7月
 - 19日▽Y's CLUB オープンカレッジ
- 8月
 - 26日▽安協問屋町支部交通安全グッズ寄贈式(横内小学校)
 - 28日▽大星神社祈年祭・観桜会
- 9月
 - 25日▽第1回理事会
 - ▽青森卸センター(株)第1回取締役会
 - ▽青森問屋町配送(株)第1回取締役会
- 10月
 - 28日▽大星神社祈年祭・観桜会

組合50年の歩み

第7回

「組織変革と景観整備①」
【1997年～2006年】

1991年のバブル崩壊後から続く長期化した日本経済の停滞は、現在では「失われた20年」と呼ばれている。青森経済も不況が常態化し、組合員の撤退も増加傾向にあった。また、不況や中小企業の構造変化から、1999年に中小企業基本法が全面改正された。この改正により、卸団地機能強化を図った。

このような変化に対応すべく組合では、次のように定款の改定などを行い、卸団地機能強化を図った。1997年11月には定款の一部を改定し、「持ち分払い戻しの改定」「一体性維持方策の改定」「役員選挙規約の制定」を行った。

2000年の5月にも定款の一部を改定し、中小企業基本法の改正により認められた「組合員業種資格を拡大」。卸売業に限定されていた組合員資格に、小売業や運送業、サービス業などが加わり、組合員の新規加入促進を図った。

2001年2月には「9つの諸規約の改定・制定」及び「4つの諸規程の制定」も実施。組合組織が激変する時代に対応するための大幅な見直しと再整備が行われた。

この時新設された「団地内施設有効活用規約」は、組合員や組合員が団地の土地・建物に賃貸借する際のルールを明文化。賃貸による組合加入が認められたことで、その後組合員跡地処理に大きな効果を上げていく。

2002年12月には金融事業規約を改定。金融事業利用者の自己責任による「保証基金制度を創設」した。当時は金融機関の不良債権問題が深刻化しており、1999年に金融庁が金融検査マニュアル

を制定。これにより金融機関の貸出姿勢が厳しくなり、組合の金融事業は重要性を増していた。そこで組合では、事業のリスク回避を図るため、金融セーフティネットを整備。これにより転貸元の金融機関の信用も高まった。

環境面でも各年度において次のような強化が図られた。新たな組合員サービスとして、1999年にはごみとの個別収集を開始。また、青森市において事業所から排出されるごみの処分費有料化に伴い、ごみの減量化と再資源化を図るべく、2002年に紙類リサイクル回収をスタート。先進的な取り組みとして大いに注目された。

インフラ整備では、2002年に問屋橋の拡幅工事が完了し全面供用開始した。同工事は1993年の着工から足掛け10年かけて完了。当初計画より完成が7年も遅れた。2003年には当卸団地に

出稼事となる青森中央インターチェンジが完成。これにより、問屋町から県内外各地への移動時間が短縮され、物流機能が強化。業務地域としての優位性が大きい。高まり、問屋町への進出を望む声も多くなった。



問屋町の目の前に完成した青森中央IC

また、2006年には問屋町地区の汚水管が公共下水道へ接続され、青森市へ移管された。老朽化した大規模更新・修繕における費用負担が回避され、組合財務の健全化に一役買った。

光ファイバケーブル設計施工 ドローン空撮インフラ点検事業準備中 コクサイ通信特機

青森市問屋町一丁目9-9
TEL (738)0817(代) FAX (738)0839

一般財団法人 青森市産業振興財団

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4番1号
TEL(017)739-1811 FAX(017)739-1800 <http://sangyokaikan.com/>

限りなく夢が広がるイベントホール

会議・研修スポーツ・レクリエーション施設

見本市と展示会の 青森産業会館 青森県調理師会

青森市はまなす会館 青森市勤労者互助会



〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4-1
(産業会館) TEL 017 (739) 1811
FAX 017 (739) 1800
(県調理師会) TEL 017 (739) 7337
FAX 017 (739) 7337



〒030-0131 青森市問屋町一丁目10-10
(はまなす会館) TEL 017 (738) 4821
FAX 017 (728) 2162
(勤労者互助会) TEL 017 (764) 5061
FAX 017 (764) 5062

雑貨のあるガーデニングショップ



リーフ (by だいいちぞうえん)

お庭の設計 (CAD) ・ 施工 ・ 管理

青森市第二問屋町1丁目4-4 TEL 080-6058-3881

リサイクル収益金を寄付

組合では4月20日(木)に、2016年度の空き缶及びペットボトル回収によって得られた収益金5万円を青森市社会福祉協議会へ寄付した。同寄付は今回で3回目。当日は西理事長が同協議会の前田会長に目録を手渡し、「少しでも地域社会に貢献すべく今後も継続したい」と述べた。空き缶等のリサイクル回収は2008年からスタート。初年度の回収量は5kgほどであったが、組合員らの協力により分別が徹底され、2016年度は6,594kgが回収された。



空き缶等リサイクル収益金を寄付

元木商店より寄付受贈

4月18日(月)に、組合員の(株)元木商店が組合に対し20万円を寄付した。今回の寄付は、当組合前理事長で同社の先代社長である元木一純氏が2015年2月に亡くなられた際の組合の助力などに対し、感謝の意を表し贈られたもの。当日は、元木社長と元木専務が組合会館を訪れ、西理事長に目録を贈呈した。元木社長は「組合は今年創立50周年という記念すべき年を迎えるので、問屋町の更なる環境・景観向上に活かしてもらいたい」と話した。

大星神社祈年祭・観桜会

4月28日(金)に、大星神社において祈年祭が開催された。当日は関係者や近隣住民など50名あまりが参加し、地域子弟の安泰や繁栄などを祈願。終了後には観桜会も行われた。



大星神社祈年祭

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、昨年の11月に二戸営業所から青森営業所に赴任された、(株)レンタルのニッケンの大得所長にお話を伺った。



レンタルのニッケン 青森営業所 大得 三郎 氏

「商品仕入先は1万社以上あり、国内最大規模の約6800種類90万点もの商品ラインアップを用意し、形あるモノならなんでも販売・長期レンタル・リースなどを可能にしています。また、全国の工場などでは万全の整備体制を確立し、迅速・正確・丁寧・安心の商品メンテナンスを行い、高品質の商品を提供しています。当社は今年で創立50周年を迎え、これからもお客様や社会に求められる企業であり続けるために、『安心』『安全』『コンプライアンス』を経営の根幹に据え、常にお客様の『困った』に耳を傾け、ご期待にお応えする事を第一に取り組んでいきます」と語ってくれた。

ビジネスネームという独自の制度について話が及ぶと「当社では全社員が本名ではなく、ビジネスネームで仕事に取り組んでいます。最大のねらいは公私の区別を明確にすることで、会社の玄関をくぐったらプロ意識で仕事をし、仕事を離れた個人の時間や家庭をしっかりと大切にしてという会社からのメッセージでもありますが、名前は社員一人ひとりが自分で考え、私の『大得』という名前は、大型特殊免許を持っていたことから『大』『特』ではなく『得』をするという意味でこの名前にしました」と名前にはそれぞれの想

いが込められている。自身の今後の目標について伺うと「同じ問屋町にいても、ほとんどの会社は何をレンタルしているのか分からないと思うので、団地内をすべて訪問して当社を知ってもらい、うまく協業してWin・Winの関係を目指していきたいです」と力強く話した。プライベートに話が及ぶと「趣味は今年から始めたゴルフや、最低年2回行くコンサート、2年に1回の仲間で行く海外旅行ですね。座右の銘は『チャレンジして失敗を恐れるよりも何もしない事を恐れる』で、常にチャレンジするよう心掛けています」と笑顔を見せた。(52歳)

編集後記

今月号は環境対策関連のニュースが目白押しでした。「交通安全グッズ寄贈」「合同清掃スタート235名参加」「団地内リサイクル率64%達成」「リサイクル収益金寄付」「元木商店より寄付受贈」などでした▼中でも特記すべきは「団地内リサイクル率64%達成」です▼リサイクルに取組んだ2002年度の21%からの64%です▼青森県のリサイクル率が全国ワースト5位の15%であることから自賛したいと思います▼転話題。古井祐司氏の「健康経営を阻む6つの罠とその対策」の続きです▼今号は⑤「自社だけで解決しようとする罠」についてです▼労働安全衛生法では「事業主は、常時使用する労働者に対して健康診断を実施し、その結果を記録する義務」があります▼しかし、50人未満の小規模事業所だと罰則もないため、健康データも管理されていないケースがあります▼小規模の会社が、健康経営に取り組みむときは、アドバイスをしてくれる公的機関を十分に活用することが重要です▼次に⑥「継続しない罠」についてです▼健康経営に取り組んでも、なかなか定着しなかったり、モチベーションが維持できないこともありませう▼こうした状態を回避するためには、マイルストーン(進捗を管理するため途中で設ける節目)の共有です。定期的に自社の状態をモニタリングすることです▼取り組みを始めたら節目ごとに様子を確認して、次にどのような一歩を踏み出せばいいかを従業員とともに検討していくことが有効です▼以上の「6つの罠」を超えたときに、健康経営のPDCAが回りはじめ、その価値を手にすることができま(藤本)

安心 365日 24時間体制 安全

http://www.8tohnichi.co.jp/

東日運送株式会社 代表取締役 庄子 哲朗

【業務内容】
 ・半量体機器輸送(超精密機器)
 ・重量物機器輸送&搬入据え付け
 ・医療機器輸送
 ・遊技機輸送&倉庫管理業

本社 千984-0015 仙台市若林区卸町4-2-2
 TEL:022-231-5036 FAX:022-231-5634
 青森営業所 千030-0131 青森市問屋町2-13-20
 TEL:017-764-3866 FAX:017-764-3867

平成29年度
成人式レンタルフルセット
 ¥70,000~(税抜)

きものセンター 青森店
 青森県青森市第二問屋町4-1-3
 電話 017-729-2222 (水曜定休)